

豊島ライフスタイル寄付研究部門

〔次世代ライフスタイル探究とプロトタイピング〕

生産技術研究所 豊島ライフスタイル寄付研究部門
Toyoshima Endowed Chair for Life Style Research

<https://toyoshima-lsr.net/>

所属研究者：野城智也教授、PENNINGTON Miles教授、戸矢理衣奈特任准教授、WEIL Flora特任研究員、吉村正昭リサーチフェロー

豊島ライフスタイル寄付研究部門は豊島（とよしま）株式会社からの寄付を元に2018年10月1日に設置された。

ライフスタイルが多様化し、人工知能やIoTによって従来の「人とモノ」との関係性に大きな変化が起こるなか、ファッション産業においても従来の活動に留まらず、消費者の生活や日々の行動に関わる出来事を広く丁寧に見つめ、ライフスタイル全般を捉え直す必要性が生じている。ファッション業界のみならず医療・介護・健康などライフスタイルに関する市場ニーズを汲み取り、東京大学の工学系の基礎・応用研究の中から探索し、価値創造デザイン推進基盤との協働により試作（プロトタイピング）を繰り返して、実用化や事業化への道を探索していく。特にスマートテキスタイルなどの素材領域から、生活周りのIoTを含むサービス領域まで、広範な人々の生活の中に新たな価値を生み出すことを目指している。所属研究者の専門は建築、IoT、電気工学、歴史学など多岐に及び、また豊島株式会社の社員とのディスカッションも随時行っている。

2019年度はプロトタイプ「HYOHI」「VIBE」を制作した。いずれも南豪研究室の超分子化学および金研究室のマイクロニードルパッチに関する先端研究から発想を得たものである。汗など体表（表皮）からの簡易的な成分計測と累積データの活用により、心身両面での健康維持を図ることが期待されている。



Photo: Takumi Ota